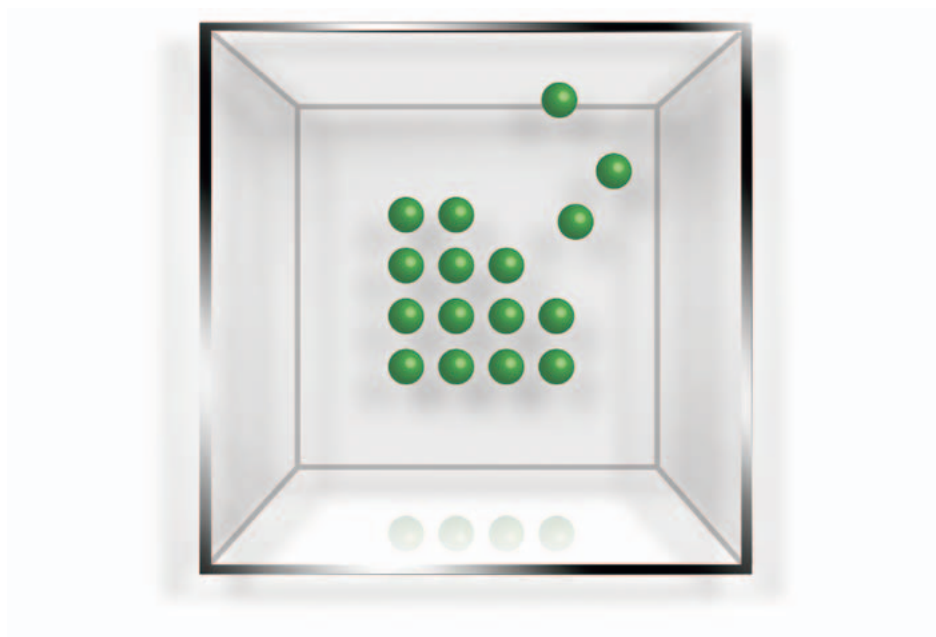




風味、色合い、そのままに微粉碎



— 粉碎加工の新技术と、地球環境の未来を見つめる —

マイクロパウテック株式会社

未来を守る



今、食品の安全性が問われています。
今お使いの食品粉末は本当に安全ですか？

一般的に広く普及している石臼式の粉碎機は、その使用頻度にもよりますが、石臼が磨耗して、約1年で目立てが必要となるといわれています。

同様にボールミルにおきましても、粉碎メディアであるセラミックや金属のボールが、激しく磨耗します。

つまり、これらの食品粉末には、必ず磨耗粉が混入しているという事になります。

ミクロンサイズになった金属などの磨耗粉の混入した食品を摂取して、人体に何ら影響がないとは言い切れません。これはマイクロパウテックの誇大広告ではなく、従来のものをむやみに卑下しているものではありません。技術は常に進歩・進化するものです。

ただ、不純物の無い安全な食品を口にさせていただきたいという純粋な思いです。

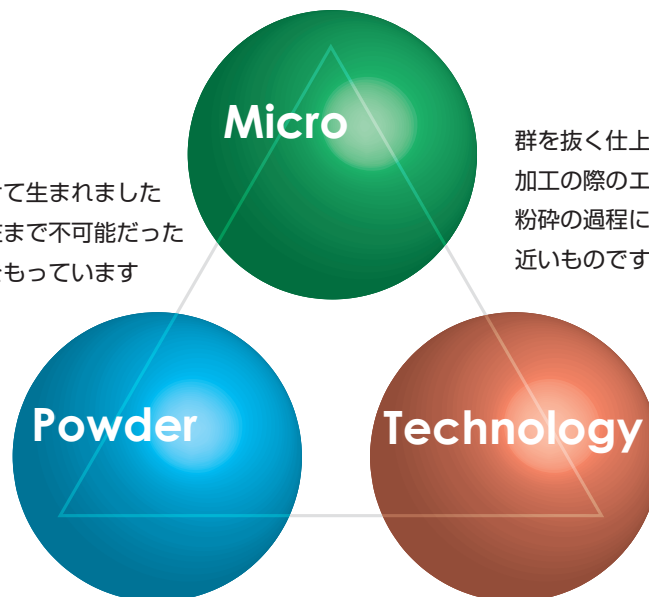
マイクロパウテック独自開発の気流微粉碎技術なら金属どうしの接触部が一切ないため、磨耗粉の混入の心配が一切ありません。

本当に「安心」「安全」な食品粉末を届けたい、それがマイクロパウテックの願いなのです。

テクノロジー

マイクロパウテックは
ミクロ
パウダー
テクノロジー

の3つの言葉を結びつけて生まれました
マイクロパウテックは現在まで不可能だった
加工を可能にする技術をもっています



群を抜く仕上がりの品質はもちろん
加工の際のエネルギー損失や
粉碎の過程に生じる廃棄物も限りなく無に
近いものです

「限りある資源を無駄なく効率よく」
それが合言葉
マイクロパウテックのパウダーテクノロジーは
粉碎技術の最先端です

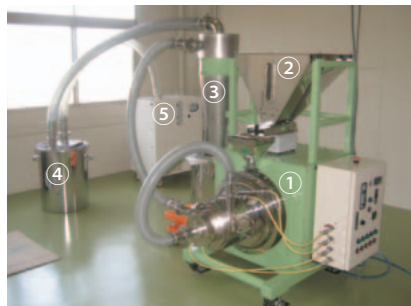
エアータグミル・BIミル・AIBIM

(特許取得済)

気流式微粉碎機械装置の最先端！当社が開発した粉碎装置のご紹介です。

エアータグミル微粉碎機械装置システム

MP-NEO MILL の設置例



- ① MP-NEO MILL 本体
- ② 原料供給装置・電気制御盤
- ③ サイクロンタンク
- ④ 最終捕集用フィルタータンク
- ⑤ 高圧ブロアユニット

加工例



緑茶 粉碎そのものは難しくありませんが、粉碎時の発生熱による色落ち、風味落ちが問題でした。マイクロパウテックは風味・色合いそのままに、水溶時にだまになり難い良質な粉末を可能にします。



大豆 「畑のお肉」大豆は、油脂分が多く機械的な粉碎は難しいと言われていましたが、マイクロパウテックなら簡単に粉碎。得られた粉末はおからの出ない「全粒豆腐」や、様々な新商品の開発に使われています。



海苔・花かつお こうした比重の軽いものは従来の方法では難しいとされていましたが、マイクロパウテックなら簡単に微粉碎が可能です。

エアータグミルの特長

- ① 気流式粉碎機であるため温度上昇を極力抑えられる事に加え弊社独自開発のシステムにより、完成粉体をほぼ常温にて取り出す事が可能です。
- ② 投入された原料は瞬時に粉碎され、粉碎室内に長留まりません。その為、熱による変形を起こしにくく、色合い・風味を損ないにくい仕上がりとなります。
- ③ 粉碎室内の酸素濃度を低く保つ構造のため、完成粉体は水溶時にだまになり難い仕上がりです。
- ④ 油性が強く、機械的粉碎が困難とされていた大豆等の粉碎も容易に、かつ仕上がりも良品です。
- ⑤ 粒度調整が従来の物に比べ容易にできます。
- ⑥ 気流を起こす為に回転させるローターが簡易かつ軽量であるため、大きな動力設備を必要としません。
- ⑦ 金属同士の衝突部・接触部が無い為、金属粉混入の心配がありません。
- ⑧ シンプルな構造の為、分解洗浄が容易。伴い、故障も飛躍的に減りました。
- ⑨ コンパクトな設計で、広い設置場所を必要としません。

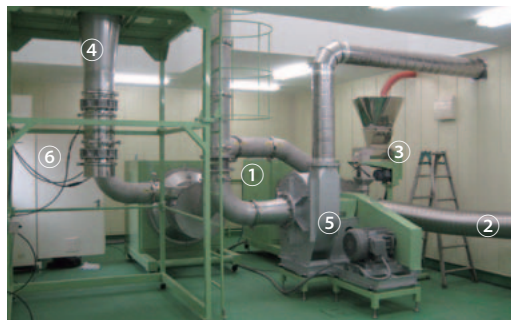
セントリドライミル

(特許取得済)

食品加工から廃棄物まで ラクラク乾燥粉碎！

セントリドライミル乾燥微粉碎機械装置システム

CDM70-1000W 型モデルの設置例



- ① CDM70-1000W 本体
- ② 熱風発生機
- ③ 原料供給装置
- ④ サイクロン・バタフライバルブ
- ⑤ 吸引ブロワ
- ⑥ 制御盤

セントリドライミルの特長

- ① 気流式微粉碎 エアータグミルの技術を活かした、弊社独自技術により乾燥と微粉碎を同時に行います。
- ② 気流式微粉碎 エアータグミルの特長は、全て踏襲しています。
- ③ 大きな熱源を必要とせず、特別な設備は不要です。
- ④ 完成粉体をほぼ常温で取り出すことができます。
- ⑤ サニタリー構造であるためコンタミの心配がなく、分解清掃が容易にできます。
- ⑥ 通常の乾燥原料の微粉碎機としてもお使いいただけます。
- ⑦ 標準機はワンユニットの省スペース設計ですので広い設置場所を必要とせず、移動も簡単にできます。

企業テーマは ECO

企画開発の段階で
まず念頭に

環境にやさしく
資源を無駄なく

これらをクリアーし
初めて具体化・製品化にとりかかります

過大なエネルギーを必要としない粉砕機器の開発
粉塵による環境汚染を防止する粉体捕集システムの研究
乾燥おからの微粉末化からの商品開発
PET の常温粉砕による廃プラのリサイクル促進
その他様々な廃棄物の粉末化によるゴミ対策
規格外農産物の粉末化による商品開発

- 商号 ミクロパウテック株式会社
- 代表者 代表取締役 江藤 忠士
- 本社工場所在地 〒 910-0231 福井県坂井市丸岡町霞町 3-19-2
- 設立 2006 年 6 月 8 日
- 資本金 25,000,000 円
- 事業内容 粉砕機器装置の販売及び販売企画
粉砕機器装置の保守及び管理
粉体商品開発に関するアドバイス業務
- 取引銀行 北陸銀行 福井銀行
- TEL/FAX TEL 0776-66-2699 / FAX 0776-43-3960



MicroPowtec

ミクロパウテック株式会社

本社工場 〒 910-0231 福井県坂井市丸岡町霞町 3-19-2
TEL:0776-66-2699 FAX:0776-43-3960

E-mail: micropowtec@vc.ibroad.jp
URL <http://www.micropowtec.jp>